

＜市島邸2017年度第2回企画展＞

文明開化の明かりと暮らし

～市島邸ランプシェードの世界～



企画展開催に合わせて下記のとおりイベントを開催します。詳しくは裏面をご覧ください。

■ギャラリートーク:9月30日(土) 午前の部 10:00～ / 午後の部 14:00

■市島邸ナイトツアー:11月19日(日) 17:00～

会期:2017.9.30(土)～11.30(木) 会場:市島邸(新発田市天王1563)

入館料:一般600円、団体(20名以上)540円 / 小中学生300円、団体250円

主催/新発田市 協力/早稲田大学図書館

お問い合わせ/新発田市観光振興課 ☎0254-28-9960

文明開化の明かりと暮らし

～市島邸ランプシェードの世界～

企画展開催に合わせて下記の関連イベントを開催いたします。是非ご参加下さい。

市島邸のあるここ天王の地に電灯がひかれたのは、今から約100年前の1915年（大正4）のことだと言われています。江戸時代の蝋燭や行灯から、明治になり石油ランプ、ガス灯、さらには電灯へと時代は移ってゆきます。

市島邸にはそんな時代の移り変わりを実感できる資料が多数残されています。庭には10数基の石灯籠が設置され、邸内には変わった形の電灯の笠（ランプシェード）があることに気づきます。これらのランプシェードはいずれも市島宗家9代・市島徳厚の時代から使われています。祖父・静月の時代に建てられ、父・湖月が発展させた市島邸に電気の明かりが灯ったのは、天王の地に電灯設備が設置されるようになった1915年頃だったと思われます。1917年に亡くなった徳厚の父・湖月の目に、電気の明かりはどれほどまぶしく輝いていたことでしょうか。

皆さんも邸内を巡り、さまざまな「明かり」を探しながら、市島宗家歴代の思いに触れてみてください。

■ギャラリートーク

日時 9月30日(土)

午前の部 10:00～ / 午後の部 14:00

会場 市島邸

講師 藤原 秀之 氏 早稲田大学戸山図書館担当課長

入場料 大人600円(団体料金540円) / 小中学生300円(団体料金250円)

定員 各回とも20人(先着)

申込 新発田市観光振興課(0254-28-9960)

市島邸に残る資料の中から、人々の暮らしを照らしてきたさまざまな「明かり（照明器具）」にスポットをあて、その歴史をご紹介します。

■市島邸ナイトツアー

日時 11月19日(日) 17:00～

会場 市島邸

入場料 大人600円(団体料金540円) / 小中学生300円(団体料金250円)

定員 30人(先着)

申込 新発田市観光振興課(0254-28-9960)

普段見ることのできない夜の市島邸を巡り、ランプシェードに灯るやわらかな市島邸の明かりをお楽しみ下さい。

交通のご案内

車で：新発田駅・豊栄駅から 約15分
月岡駅・月岡温泉から 約 5分
日本海東北自動車道
聖籠・新発田ICから 約20分

駐車場：大型バス5台 普通自動車25台

